

平成26年6月28日

MJIIT 環境グリーン工学大学院修士課程の開講を目指して

平成26年6月26日、大阪大学学際融合教育研究センター中西浩教授、**MJIIT/EGT** 学科長ズリアティ・ザカリア教授、**MJIIT** 杉浦則夫教授、**MJIIT** 原啓文准教授、**MJIIT** プラミラ・タムナイドウ専任講師が参加し、**MJIIT** が今年度開講する環境グリーン工学（EGT）分野の大学院修士課程のコース科目、内容、単位、指導教員などの検討会議を行った。とくにズリアティ学科長は、環境分野では、これまでのケミカルエンジニアリング重点指向から生物学、物理学およびその応用分野を導入することは勿論、他分野、すなわち政策、行政、社会経済、評価、倫理など多面的な考えをもとにプログラムを組み、日本からも専門的な講師を招聘して充実した人材を育成することを強調し、全員一致した。本プログラムでは、筑波大学大学院生命環境科学研究科の科目設定、履修方法、内容などを主に参考にして進めている。今後、筑波大学に対し、開講科目に合わせ、教員の派遣（短期・集中など）が期待されている。大阪大学からも中西教授を介して協力が得られることになった。



左：ズリアティ・ザカリア学科長、プラミラ・タモナイドウ専任講師
中西浩大阪大学教授

文責：杉浦則夫